

## 加工能力強化と高精度化により高生産性を実現する 複合加工機”INTEGREX i NEO”シリーズ

ヤマザキマザック株式会社(代表取締役社長:山崎高嗣、本社:愛知県大口町)は、加工能力の強化と高精度化により高生産性を実現する複合加工機「INTEGREX i NEO」シリーズを開発し、販売を開始しました。2025年10月22日からポートメッセなごやにて開催される MECT 2025(メカトロテック ジャパン 2025)には、「INTEGREX i-250 NEO」を出展します。

複合加工機“INTEGREX(インテグレックス)”は、当社のフラッグシップモデルとして長年にわたり進化を続けてきました。今回、新たに開発した INTEGREX i NEO シリーズでは、コンパクトな新デザインのミル主軸を採用し、ワーク干渉を抑制して加工領域を拡大しました。さらに、20000回転仕様(オプション)では、ミル主軸の構造を最適化して剛性を高め、高速主軸でありながら鉄系材料のミーリング加工においても高剛性を生かした高い生産性を発揮します。

また、旋削主軸・ミル主軸の冷却機能を強化するとともに、各駆動軸のボールねじの温度情報に基づき全長変化を補正する機能を搭載しました。これにより熱変位の影響を低減し、連続加工時の加工精度のさらなる安定化を実現しています。

INTEGREX i NEO シリーズでは、多品種少量生産など高頻度での工具の段取り替えが必要な場合に適したフロントマガジンを採用、さらに工具脱着装置や工具仮置台を新たに設け、段取り時のオペレータの負担を軽減します。

当社は今後も複合加工機の代名詞である INTEGREX シリーズの機能向上と技術開発を進め、生産現場が抱える人手不足や熟練技能者不足といった課題の解決に貢献してまいります。

### 【INTEGREX i-250 NEO 外観】



※オプション仕様を含む